

23

3

I-0938

0194

調査局



關西方面地震被害状況(第一報)

警保局

昭和十八年九月拾壹日接受



大阪府電話(午後六時三十分受)

本日午後五時三十九分頃關西一帯ニ亘リ地震アリ、大阪、京都、兵庫、岡山、廣島、山口各府縣ハ時計ノ止マリシ程度、和歌山縣ハ稍強カリシ様子ナリ

第三課長

大阪府電話(午後八時受)

震源地ハ兵庫縣北部ノ模様
鳥取市ニ於テハ約三十分倒壊ノ事ナリ、被災發生、鳥取縣下北條、島根縣松江間列車不通、鳥取、兵庫間ノ陸道ノ入口崩壊
(以上警察、通信電話不通ノ為、大阪朝日、毎日新聞社ニ入りテ情報ナリ)

防衛總司令部電話連絡(午後八時四十分受)

(以上大阪府電話ト同様内容ノ連絡アリ)
通信不通ノ為、能行機ヲ以テ状況調査セントス。

兵庫縣電話(午後九時三十分受)

本日午後五時四十分管下全般ニ亘リ水平動ヲ伴フ相当強度ノ地震アリ、現在判明ノ被害状況左記ノ通り

記

管下兵庫警察署管内、負傷二名、家屋半壊五、土蔵半壊一、其、他、瓦、壁ノ落下相當アリ
山陰線 浜坂ヨリ西方不通、湯村温泉不湧狀態ニ至ル、浜坂、鳥取兩警察署間警察、通信電話不通。

中央氣象臺電話連絡(午後九時三十分)

本日午後五時三十七分頃、鳥取市附近ニ震源ヲ有スル可致リ、地震ハ起リ、身体ニ感ジタ範圍ハ中國、四國及近畿地方ノ全部ヲ中斷、地方及九州地方ノ一部分ニ亘ル廣範囲ノモ、デテ、震源ニ近ク鳥取市附近ハ相當強ナル見込、近畿縣ノ震度ハ中震程度、大シク被害ハナシ、震源地附近ハ倒壊家屋ニアル見込、此ノ震度ハ、震又ハ烈震ト思料セラル(鳥取ノ情報ハナシ)

關西方面地震被害状況(第二報)

警保局

昭和十八年九月十日午後十一時

○岡山縣電話(午後十時受)

鳥取市ノ北方赤村ニ於テハ家屋三分ノ一位倒壊シ、目下火災延焼中、鳥取市ニ於テモ同様ノ風評アリ
岩見、北條兩駅間不通、智頭、鳥取駅間不通

○兵庫縣電話(午後十時三十分受)

午後五時四十分但馬地方ニ強度ノ地震アリ
其ノ被害左記ノ通り

記

震源地、鳥取市西方
程度、強震、下
種類、水平動

被害 負傷四名、家屋半壊七、土藏倒壊二、土藏半

壊ニ、屋根瓦、壁ノ落下相當アル鬼辻

美方郡組居驛以西、山陰線不通復舊ノ見込立タズ

浜坂温泉湧出止マル

隣接鳥取縣岩井警察署ヨリ西方ノ通信連絡不能

○廣島縣電話(午後十時四十五分受)

本日午後五時三十五分鳥取市ヲ中心トスル地震來襲シ、
鳥取市ニ於テハ死者、倒壊家屋多數ヲ生ジ、市内各所
ヨリ火災發生シタガ水道管破裂ノタメ消火意ノ如ク
不成、遂ニ軍隊出動シ警備ニ服シタル旨鳥取縣知
事ヨリ連絡アリタルニ付通報ス

追テ廣島縣ニ於テハ損害輕微ナリ

山口、岡山、島根縣下ニ於テモ被害輕微ナリ

關西方面地震被害状況（第三報）

警保局

昭和十八年九月十日 午後十時四十分

○米子警察署長電話（岡山縣牛久保） 午後十時十分受

本日午後五時四十七分強震アリ

震源地ハ鳥取市東北方七。軒、氣高郡沖合ナリ

夕食準備中、タノ五ヶ所ヨリ出火、倒壊家屋、死傷者相當ナリ、

軍隊、警防團活動中ナルモ水道破壊シ消火意ノ如クナラズ、目下延焼中ナリ

鉄道電話（米子迄通ズ）

山陰本線（上井迄通ズ）

因美線ハ智頭迄通ズ

米子ヨリ海上船ニヨリ鳥取市ニ應援ス

尚鳥取縣ニ應援ヲ求メタリ

○大阪鉄道局ヨリ 情報ニヨレバ

一山陰本線ハ赤崎、若菜間、不通（橋梁沈下多シ）

因美線ハ智頭、鳥取間、不通

倉吉線ハ上井、関金間、不通

尚鳥取縣ニ於テハ隧道、橋梁ノ被害多シ

二鳥取市内ハ家屋櫓等ニ介ノ一倒壊、鳥取驛前丸越百貨

店等一ヶ所ヨリ発火シ、軍隊、警防團活動セルモ

交通閉塞、水道管破裂等ノタメ消火意ノ如クナ

ラズ、鳥取駅ノ延焼ハ食ヒ止メタリ

關西方面地震被害状況(第四報)

警保局

昭和十八年九月十一日午前一時三十分

○大阪府電話(午前。時三十五分受)

鳥取縣被害状況

米子署長ヨリ大阪府宛左ノ通り報告アリタリ

一鳥取市家屋数千戸中半数全壊、御幸通商店街ヨリ火災数ヶ所發生ス

一水道断水、電信、電話、鐵道全部不通

一中部四七部隊部署ニツキ活動中

一、家屋全壊、タノ老人、子供等下敷トナリ死者多数、負傷者相當數、見込

一中部四七部隊及消防隊ノ活動ニ依リ火災鎮火ノ見

込(十日午後十一時四十五分)

一管内軍部方面ノ被害相當大ナル見込ナルモ連絡不能、タノ詳細不明

一鐵道ハ山陰本線赤崎以東鳥取ニ至ル間不通、因美線ノ不通(連絡不能)

一鳥取市駅前通り丸勇百貨店、日ノ本自動車全焼

一半数以上被害ヲ被リタルタノ救済、救護ノ萬善ヲ期スヲ得ズ、

關西方面地震被害狀況（第五報）

警 保 局

昭和十八年九月十一日午前二時

○岡山縣電話（午前一時三十五分受）

鳥取カラ米子警察署ニ入ッタ情報ニヨレバ
鳥取市ハ全壊若ハ半壊ニテ殘存家屋ナシ
縣廳附近（東町）ニハ少數ノ家屋殘レリ
水道管破裂、道路閉塞シ消火困難ナリタルモ
鎮火ノ見込ツキタリ
米子市、西伯、東伯、日野ヨリ警防團、翼賛壯
年團等応援ニ赴キタリ、警察官ハ堺港ヨリ船
ニテ応援ニ赴ケリ
（赤崎ヨリ徒歩スル自転車）

○午前一時三十分内務大臣ヨリ左ノ如ク非常応援ヲ命
ジタリ

一、岡山縣

警察官吏五十名及適當數ノ救護班員

二、兵庫縣

右ニ同ジ

三、大阪府

救護班員四十名

右ノ中警察官吏ハ鳥取市ニ向ヒ直チニ出發、救護
班員ハ編成終了後直チニ出發ノ豫定
尚廣島縣ヨリ警部以下十一名應援ノタメ鳥取縣ニ出發
セリ

関西方面地震被害状況 (第六報)

警保局

昭和十八年九月十一日午前三時

○岡山縣電話(午前二時五分受)

鳥取縣ヨリノ通報ニ依レバ其ノ後現在迄ニ判明ヒル状況左ノ如シ

- 一、被害ハ予想外ニ甚大ニシテ就中鳥取市ヲ中心トスル災害ナリ、市内ニ於ケル火災ハ約十ヶ所ニテ水道管破裂倒壊家屋ノ道路閉塞等ニヨリ消防活動意ノ如クナラザルタノ一時大火トナルコトヲ憂慮サレタルモ漸次鎮火ヲ見ツアリ
- 二、交通関係ハ鳥取市ヲ中心トスル各線トモ不通、尚トシネルノ陥没、鉄条ノ破損等相当被害アル見込
- 三、通信関係ハ電信、電話ハ市内一部ヲ除キ不通、市外ハ全部不通

四、鉄道電話ハ鳥取ヨリ西米子市以外ハ通話不可能ニテ目下只一ツノ連絡機能ヲ呈シツ、アリ、無線電線ハアンテナ切れタルタノ通話不能
死傷者ハ不明ナルモ数百名ニ達スル見込

五、倒壊家屋三分ノ二程度、焼失家屋ハ全焼百戸以上ニ達シ尚目下延焼中

六、鳥取監視隊本部ハ被害甚シキタメ目下全機能停止ノ状態ナリ

米子附近ハ被害殆ンドナシ全縣下ノ警察官、警防団ヲ鳥取市ニ應援方命ジタリ

七、震源地ハ米子氣象台ノ通報ニ依リ鳥取縣気高郡末恒村附近ノ海岸ナル趣ナリ
(室木村)

八日赤鳥取支部長ヨリ、岡山縣ニ対シ次ノ依頼ヲナセリ
九月十日夕刻激震ノタメ死傷甚大ノ見込ナルガ、
医療機関殆んど全滅状態ニ付テハ救護班ニ
右療材料最大限ニ御携帶ノ上至急御來援方
乞フ。
尚兵庫、京都、大阪ニ對シテモ同様依頼セリ

(参考)

鳥取縣高山官房長ノ聲稱分鳥取ニ於テ
家屋倒壊ノタメ死亡セリ

調査局

第四部

左

昭和拾八年九月拾壹日



関西方面地震被害状況 (第七報)

警保局

(昭和十八年九月十一日現在)

第三課長

岡山県電話 = 依り其、後判明セル鳥取県、被害状況
左、如し

一鳥取市

一人的被害 死者 約三〇〇名
傷者 約一〇〇〇名

二物的被害 (住家戸数一〇、〇〇〇戸中)

全焼 約二〇〇戸
全壊 約四〇〇戸
半壊 約六〇〇戸

火災、十三、所ヨリ発生シ二百戸ヲ全焼セルニ概ネ

一日午前三時三十分頃鎮火セリ

一縣廳、全官舎、鳥取県及縣隊各舎ハ幸ニ

被害ヲ免レタリ

二鳥取市附近村落

一人的被害 死者 約一〇〇名
傷者 約二〇〇名

二物的被害 全壊住家 約一〇〇戸

半壊、多数アル見込ナルヲ目下調査中
全焼、七戸

以上

調査局

警務局長

関西方面地震被害状況(第八報)

警務局

昭和十八年九月拾二日



第三課長

一鳥取縣警防課長ヨリ中部軍司令部大政府
至由、報告(十一日午後一時受理)

(一)鳥取市被害状況

一、家屋 市内、三分二ハ全倒壊、三分一ハ半倒壊
二、死者 五〇〇名以上、傷者 二〇〇〇名以上

尚倒壊家屋ノ下敷トナレル者多数、軍ト協力救出中ナルモ人員不詳

(二)鳥取市外被害状況

一、市ヨリ西方面ニ被害アリ

二、市ヨリ東南方ニ於テハ被害僅少、見込

三、十一日午前六時ヨリ七時、間ニ於ケル防衛總司令部

軍用機ニ依ル偵察報告

一、鳥取市避難民ハ學校松林等ニ避難シアリ

二、鳥取駅ハ破壊セルガ如キモ倒壊シ居ラス

三、市ノ中央部ノ倒壊最モ甚大ナリ

四、半子飛行機乗員練習所飛行機ニ依ル偵察報告

縣廳銀行裁判所郵便局其他規模大ナル建物ハ被害概ネ僅少ナリ

四、岡山至由鳥取縣報告(十日前十一時半受理、延着ト認メラル)

十日午後五時三十分震災ト共ニ發生セル火災被害ノ概況次ニ通り

九月十日午後五時三十分頃ヨリ十一日午前五時頃迄ニ於ケル鳥取市
各所ノ火災ニ因ル焼失家屋(住家)一三四戸、其ノ内主ナルモ
ソハ軍用係銃工場ニ私立病院病棟一丸由百貨店、日ノ又自動
車々庫及車四輛等ナリ

五、午後三時ニ分大改警防課報告

(一)因美線ハ津井(鳥取一駅手前)迄開通、不日全通、見込
(二)山陰線ハ復旧ニ四、五日ヲ要スル見込
(三)倉吉線ハ復旧ニ三、四日ヲ要ス

I-0938

0209

関西方面地震被害状況（第九報）

警保局
昭和十九年九月十四日午後五時

岡山縣警察本部連絡（十日午後四時電話）

本縣月本警部補ヲ派遣シ鳥取縣下ノ實情ヲ視察セシメタル
トコロ今人ノ報告左ノ如シ

（一）鳥取市内

家屋全潰 六〇〇〇戸

半潰（殆ど居住不能）相當多數

死者 六〇〇名

重軽傷者 一五〇〇名

出火件数 十二ヶ所

焼失家屋 三五〇戸

郡部方面

家屋全潰 一〇〇〇戸

半潰 相當多數ノ見込

死傷者 二〇〇名

右ノ内主ナル被害トシテ

國民學校 四ヶ所 倒潰（之ガ死者一〇〇名）

（以上八ヶ午前十時三十分鳥取署長發表ノモノ）

尚縣特高隊員ノ談ニ依ルニ

（一）物資搬入レ又ハ勤務報團隊員等ノ入込ハ混亂中ニテ不
可能ナラン

（二）人心ハ最悪状態ナルモ治安ニ異状ナレ、

（三）火事ハ全ク鎮火レ終レリ

（四）現在罹災民ノ行動ハ何レモ道路ノ取付付、死傷ノ搬出
等ニ從事中ナリ

(冬々亭)

岡山米子間、連絡ハ迅速ナラサル為、現在鳥取、津山向、鉄道
電路ヲ以テ連絡スル、操工作中ニシテ之ガ完成スレバ連絡ハ
良好トナル見込

◎ 内務大臣ハ午後二時二十七分、米子飛行場安著、視察ヲ予
定、檢討ノ後、陸路視察ノストトリ一行、自動車二台ニ分乗
鳥取ニ向ヘリ

陸海軍ノ救護活動

ハ中部軍第百四七部隊ハ十日、夜即ニ現地ニ出動、罹災民ノ
救護ニ出向リ、ワマリ

(2) 舞鶴鎮守府所屬、駆逐艦ハ十日夕刻、矢布、蚊帳、主
食品、漬物類等ヲ満載、鳥取ニ向テ發航セリ

丁ニシテ二便ハ医師、看護婦、及医療品、輸送ノ爲、今夜半
米子陸出港ノ予定

調査局

昭和拾八年九月拾参日

西方面地震被害状況(第十報)

警務局

昭和十年九月十日午後三時五分

大阪府警務所課長状況報告(十日午後六時四十分電話)

(一) 兵庫縣隣接警務所署長ヨリ報告ニ依ル本日午後一時現在鳥取市ノ被害状況次ノ如シ

死者 五二〇名

重傷者 三二四名

軽傷者 一〇〇〇名

家屋全潰 三五六七戸

半潰 一七〇〇戸

鳥取市外ニ於ケル状況

宝木村以西ハ被害ナキ見込

隣接町村浜村、青谷、湖山、倉田村ニ被害若干アル

見込

(二)

鳥取縣警務所課長ヨリ連絡ニ依ルハ應援警務所長

岡山 五〇名

兵庫 五〇名

廣島 一三名

大阪ヨリ派遣セル連絡員警部二名

ハ既ニ鳥取縣ニ到着セリ

警務所救護班等ハ末ダ到着セズ(午後一時状況)

鳥取地方ハ目下豪雨ナルモ死傷ハ引續キ搬出中ナリ

内務大臣ハ十六時米子發自動車ニテ鳥取ニ向ヒ二十時

鳥取着ノ豫定

尚内務大臣ハ左ノ一併係各有友吏随伴出張シ夫々所

属ノ項ニ付キ連絡視察中ナリ

内務省警務局 北村経清保安課長

情報局 下野通報課長

商工省 入江總務局物資動員課長

農林省 荒井食糧及理局検査課長

厚生省 井上生活局保護課長

調査局

岡山方面地震被害状況（第十報）

昭和十八年九月十四日午後七時五分

岡山縣警察部連絡（十一日午後六時三十分）

午後三時現在、被害状況左ノ如シ

（一）鳥取警察署管内（一市二十ヶ町村）

人的被害

死者 六十一名（市内一、六〇五名）
負傷者 一七〇二名（市内一、五九七名）

物的被害

住家被害 全潰 四、八一九戸（市内一、三八〇戸）
半潰 三、一八五戸（市内一、二九六戸）

火災ハ十二ヶ所ヨリ發火、火勢猛烈ヲ極メ、大火ヲ思ハレタルモ、消防
ニ努メ約二〇〇戸全焼ヲ以テ消止メタリ

尚火災ハ本日午後三時完全ニ消火レタリ

（二）右ノ除キタル全縣下ノ状況

（一）倉吉西部ハ損害輕微、人畜死傷ナレ

家屋倒潰 三戸ノミ、倉吉町ヨリ鳥取市ニ接近スルニ從ヒ被害
甚大ナリ

倉吉町ヨリ鳥取市ノ間ニ於ケル被害概況ハ
全焼 二二〇戸 死者 二〇名

負傷者ハ多數アル見込ナルモ不明ナリ

（四）鳥取市ヨリ東部ニ於テハ、岩美・鎭山一帯、被害稍甚大ニレテ、
全鎭山ノ沈澱物・載積場ガ決潰シ行方不明四七名（死亡ト推定サル）
ヲ出セリ

今地方他方面ニ於テモ倒潰家屋一三〇戸出レ人の損害アル見
込ナルモ不詳ヲ續キ調査中

（三）民心安定ニ對スル処置上ノ措置

地震發生ト共ニ警察官吏ヲ動員シ被害状況ヲ調査セシメ應急
救助ノ措置ヲ爲スト共ニ市民ニ對シ被害ノ地域カ縣下ノ一小地域ナル
コトヲ知ラセ混乱動搖ヲ防止スルノ目的ヲ以テ縣知事ノ各諭ヲ揭示
セル結果民心著レク安定シ現在倒潰家屋ノ修理取片付ニ從事
シツアリ、治安上憂慮スベキ事案ナシ

(四) 鉄道・交通状況

山陰線ハ香住、赤碓間不通
國美線ハ郡家、鳥取間不通（津山、姫路、設原ハ今晩中ニ通過、見込）
若槻線ハ不通ナリトヨロ日本、午前十時半、通過セリ
南鉄道ハ被害状況泥ニアリテハ鉄橋破損、水道崩潰、線路屋折、係
果相害ノ被害アリ

(五) 通信状況

近信電話ハ市内ノ一部ヲ除キ全部不通ナリ 市外モ全部不通ナリ
トコロ鳥取、米子間ハ向モナク復旧ス
警備電話全部不通 復旧ノ見込立タス
放送局ハアンテナ切断、放送不能ナリ

(六) 国民学校ノ倒潰状況

倒潰ノ死亡ナレ 前報ニ於テモ、重傷死亡百名ト報告セルハ誤リ付テス
官公署ノ被害状況
倒潰セルモノナレ 警察、同官舎天無事（破損シテハ倒潰シ居ラス）

(七) 大蔵省ノ中テ勤務シタルモノ多キ由ナリ

病院ノ被害状況
市十字病院ト市立病院ノ一部倒潰ナリ 南市民病院ハ一部倒潰シテ二
十名即死ナリ

(八) 左近民ノ救護状況

市役所並ニ町会隣組ヲ通ジテ米穀、配給ヲ為シワザリ
高知、中用ノ水ハ當初之ヲ得ルニ困難ナリトシテ低地域ヨリ水道使
用可能ト為リタリ（水）
午後二時頃ヨリ豪雨ト為リ罹災者ハ相當難澁シ居ルモノ如シ
負傷者ノ救護ニ関シテハ市十字本部ニ於テ衛生長、伍長、指揮官
ト為リテ之ニ従事シワザリ

(一) 電灯ハ昨日ヨリ点灯不能ナルヲ以テ今明日中ニ復旧セシムベク努力中ナルモ確タル見込ナシ
(二) 尚「瓦斯タンク」ニハ異状ナシ
(三) 倒壊家屋ノ救助

縣下各地ヨリ警防團ノ應援ヲ得テ取片中ナルモ未ダ完全ニ整理シ得ズ 從テ倒壊家屋ノ下敷トナリシ死亡者ハ今後増加ノ見込 目下交通整理ニ重宝ヲ置キ 街路ニ自動車ノ通行ニ得ルヤウ努力中アリ
(四) 縣當局ハ貨物自動車ノ救護ヲ希望シ居レリ
(五) 岡山縣津山警察署長ノ報告ニ依レバ今十一日ニテ十八分津山駅列車ニテ西部第五十二部隊ヨリ約百五十名鳥取ニ向テ豫定ナリ

(六) 震害ノ為杜絶セル電信電話施設ハ本夕五時過ぎニ至リ先ツ鳥取岡山間通信電話復旧ニ漸ク鳥取市附近被害ノ全貌ヲ知ルコトヲ得次テ電信線亦復旧シ鳥取東京間初メテ電報報告ヲ午後六時五十分 内務省ニ於テテ信セリ

(七) 内務大臣ハ午後二時三十分 水子飛行場ニ到着視察豫定 檢討ノ上午後四時三十分 同飛行場ヲ出發自動車ニテ鳥取市ニ向ハル



調査局

昭和十八年九月二十二日

關西方面地震被害狀況（第十二報）

警保局

昭和十八年九月二十二日午前六時

鳥取縣米子警察署電報（十一日午後九時十八分受）

内務大臣閣下ハ十四時二十分米子飛行場着
十六時自勤率ニテ米子發鳥取ニ向ヒタリ
二十一時鳥取着ノ豫定ナリ

山口縣知事電報（十一日午後九時四十分受）

鳥取縣下震災救援ノ爲本縣ヨリハ兵事、厚生課長以下
警察官二、屬二醫師五、防疫官二、藥劑師一、
看護婦二八、保健婦三、其他一、計四十六名本日
十三時三十分山口發派遣セリ

岡山縣電話（十二日午前一時三十分受）

鳥取縣ノ通報ニ依レハ其ノ後ノ罹災者ノ狀況左ノ如シ
鳥取市ニ於ケル被害狀況ハ疊々報告ノ通り倒壊焼失
家屋多ク倒壊ヲ免レタル家屋ニアリテハ半壊或ハ極度ニ
傾斜シテ危險ヲ伴フ等殆ト使用ニ堪ハサル程度ニ損壞
セルヲ以テ道路空地境內運動場等ニ古板、雨戸、筵等ヲ
張り或ハ傘ヲ以テ雨露ヲ凌グ程度ノ簡素ナル假住居ヲ急
造シ其ノ後相繼グ餘震ニ競マシテ一夜ヲ明シタルガ夜明ニ伴ヒ
中ニハ學校講堂サレカス、假小屋其ノ他比較的堅牢ナル建物
ヲ物色シテ集團的ニ收容シタルモ餘震初繼ギ止マズシテ危險去ラ
カルヲ以テ屋外避難者ハ依然多數ヲ占メタル實狀ナリ
午後五時頃ヨリ雷ヲ伴フ豪雨アリ其ノ後又降り続ク強雨ニ
罹災者ノ中ニハ相当濡レツアルモノ尠カラズ健康保持上憂
慮セラル、狀況ナリ

調査四

關西方面地震被害状況(第十三報)

警 保 局

昭和十八年九月十二日午前八時半

午前五時三十分 鳥取縣特高課長ニ公衆電話ヲ以テ
其ノ後ニ於ケル状況ヲ聴取スルニ左ノ如シ

(一) 災害状況ハ昨ナ一日夜(當方第一報参照)及
本十二日午前一時三十分(當方第二報参照)岡山
縣警察部ヲ通ジテ報告セルガ、鳥取市内ニ關ス
ル部分ハ町會、隣組等ノ組織ヲ通ジ調査シタル
ニシテ一應其ノ全貌ヲ明ニセルモノナリ
郡部ハ警察電話具、他通信網不通ノ爲情報ノ

蒐集困難ナルヲ以テ稍正確ヲ缺クモ被害ハ鳥
取市ガ中心ト爲リタルモノニシテ郡部ノ被害ハ大ナ
ラザル見込

其ノ後尚漸續的ニ餘震アリ、相當強キモノモ有之
モ被害ヲ伴ハズ

津波ノ被害ハ目下ノトコロナシ

(二) 人心ハ安定シアリテ、半島人ハ動向等ニモ何等異
状ヲ認メズ、之ノ方面ニ付テハ特ニ警戒シツツアリ

(三) 給與ノ状況ハ當初ハ多少不圓滑ナルトコアルハ
免レザリシモ、警察ニ於テ注意是正ニ努メ漸
次順調ニ行ハレツツアリ

救護ハ近接府縣ノ應援救護班相當多数ニ來着

(四)

目下赤十字病院ニ本部ヲ置キ、衛生課長指
揮ノ下ニ活動中ニシテ傷者ノ手当ニ付テ可及
的措置ヲ行ヒツツアリ
死者ニ對スル問題トシテ棺箱、骨壺等ノ多数
調達ヲ必要トスル状態アリ
之ニ對シテハ市内及郡部ノ大工等ヲ召集シ、應
急ノ處置ヲ採リツツアリ
警察電話ハ目下ノ處復興ノ見込立タズ

I-0938

02 12

調査第四

昭和十八年九月十二日午後一時

関西方面地震被害状況（第十四報）

警保局

昭和十八年九月十二日午後一時

午前十時三十分兵庫縣警防課ノ報告ニ依レバ
鳥取縣下ノ被害状況左ノ如シ

一、鳥取縣ニ應援ニ出向セル本縣警務部勤務本署
部ノ報告ニ依レバ十二日午前七時迄ニ判明セル同
地ノ被害状況左ノ如シ

(一) 鳥取市

一人ノ被害

死亡 六〇五

大部分收容シタルモ尚引續キ
捜査中

重傷 四一八

輕傷 一七九

2. 建物被害

全壊 三八〇

半壊 二一九六

其ノ他大部分輕微ナル破壊アリ、完全ナル

建物殆ンド無シ

焼失 一六〇

(二) 郡部方面

木高、岩美郡最モ甚シ

一人ノ被害

死亡 六六

重傷 二四

輕傷 八一

2. 建物被害

全潰 一〇一九

半潰 八八九

(三) 倒潰、焼失家屋中 主ナルモノ次ノ如シ

官公衙 無シ

機関庫 倒潰

丸田百貨店 焼失

日、丸自動車會社 全焼

一、湯下テル 倒潰

市立病院 一、二、三病棟 倒潰 患者全部下敷

赤十字支部 商店舎 倒潰

國民學校 二 倒潰

十一日午後七時鎮火ス

(四) 應援警察官派遣状況

大阪 二、京都 二、兵庫 五三、岡山 五。

廣島 一三、鳥根 六一、

鳥取縣下 全警察官 三五。内 應援 一一。(内 警

鳥取市内 五。本部 六。)

(五) 警防團應援状況

縣下ヨリ 四。。。

(六) 交通通信状況

○ 山陰線

居組、鳥取間、
鳥取上井間

不通 (當分復舊ノ見込ナシ)

○因美線 郡下、鳥取間 不通

○不通原因 道路、鉄橋、トンネル、破潰、陥没

(七) 通信電話

鳥取市内 大部分不通ナルモ一部開通

大阪、神戸、米子 各線及縣内一部開通

(八) 無線電信

アンテナ 切断、放送不能

(九) 警備並ニ治安状況

災害發生ト共ニ鳥取第四部隊ヨリ出動現地

警察官協力警戒ニ任ジツツアリテ人心漸次冷

静トナリ目下治安上各別憂慮ナシ

(十) 被難者ノ状況

目下道路及學校校庭ニ收容セルモ豪雨ノ為相

當困難ヲ感ジツツアリ、目下最モ急ヲ要スル

措置トシテハ死者及重傷者ノ搬救出及倒潰家

屋除去作業ニシテ之ガ為本日工兵隊及海軍

部隊救援ノ為同地ニ出動ノ豫定

尚縣廳ハ大ナル被害ナキモ天井ノ墜落及壁ノ

脱落等相當ノ被害アリ

(十一) 内務大臣ハ本日午前二時鳥取縣廳ニ到着目下

状況視察中ナリ

(十二) 兵庫縣警察官全員鳥取市内ノ死傷者ノ搬

救出及治安警備ニ任ジツツアリ

以上

調査局

昭和拾八年九月拾參日

岡西方面地震被害状況（第十五報）

警保局
昭一八九一〇台二時

一岡山縣時高課中継鳥取縣ヨリ、電話報告（台〇三〇受電）

ニ依レバ其、後判明セル被害、状況次ノ通り

(1) 死者ハ予想外ニヨク、本日午前九時五十分迄ニ判明セルモノハ八七〇名（前報ニ依レバ市内六〇六、市外六五計六六一）ニシテ續々新ニ発見セラレツ、アリ

(2) 鳥取市内電燈ハ目下復旧工事中ニシテ配電会社ハ今晚ヨリ點燈、目擇リ下ニ努力シツ、アリ

(3) 水道、復旧ハ水源地ニ對スル送電ヲ完全ニシテ速ニ送水ヲ開始スベリ努力シツ、アルモ目下水源地ニ於ケル鉄管自体が故障、爲完全修復容易ナラス

ニ海軍省ニテ接受セル情報（十二日前十一時（受理）ニ依レバ

其、後、被害情況次ノ如シ

(1) 食糧衣料品等ハ大体ニ於テ不足ナキモノノ如シ

(2) 市内ニ於ケル赤十字病院ハ被害ヲ免レタル爲本病院ニ於テ專ラ負傷者、治療ニ當リツ、アルモ建物狹隘ナル爲屋外ニ於テモ治療シツ、アリ
アントハ寢台不足ヲ感ジツ、アリ

(3) 死傷者數（縣下全般）

死者	七四〇	（市内六五〇）
傷者	一七〇二	（市内一五九二）
全壊家屋	五一八〇	（市内三八〇〇）
半壊	三三〇〇	（市内二九七）

調査員 四

昭和拾八年九月拾參日接受

關西方面地震被害状況 (第十六報)

警保局

昭和十八年九月十一日午後三時

大阪府警防課長ヨリ連終 (九月十一日午後一時五十分)
一、十二日午後一時現在状況

死 八七〇

重傷 一、七〇〇

(目下續々死体發掘中ナルヲ以テ今後増加ノ見込)

全潰 四、六一九 内 市内 三、八五〇

半潰 三、一八六 内 市内 二、二九六

全焼 約九五〇

三、海軍ヨリ、第二回救援船今朝九時鳥取港着

十一時市内ニ到着 目下救護ニ從事中 尚右
船舶ニ京都府ヨリノ救護班モ同乗セリ

三、應援警務官状況

岡山 五〇 兵庫 五二 京都 二

廣島 一三 大阪 三 鳥根 六〇

山口 二〇程度

合計約二〇名到着 目下市内ノ死者ノ引出
作業、主要交通路ノ整理並ニ一般ノ警戒防火
等、爲ニ警防團ヲ指揮協力中ナリ
今後ハ主トシテ資材ノ配給、輸送等ニ協力シツ
ツアリ

四、警察ハ目下主要交通路ノ整理並ニ死体引出ニ

主カヲ集中シツツアルモ今後ハバラツクノ建
竝ニ破壊物ノ取片付ケニ主カヲ集中スベク
岡山工兵隊一三。ノ應援部隊ガ中樞トナリ警
防圍一。名ヲ一。班トシ作業中ナリ
五 治安状況ハ良好ナリ
六 岡山ヨリトラック十台 既ニ應援ニ出發シ兵庫
ニモ應援スル様 依頼セリ
七 大阪ヨリノ救護班一。名ヲ既ニ現地ニ到着セリ

以上

I-0938

02 18

昭和拾八年九月拾參日接受

調査局

山陰方面地震被害状況（第十七報）

警保局

昭和十八年九月十一日午後九時綜合

一被害概況

昭和十八年九月十日午後五時三十七分鳥取市附近に震源地トシテ発生シタル今次地震ハ震源地附近ニ於テハ極メテ強烈ニシテ鳥取市及其附近ニ於テ死傷二千五百余名全半潰一万户余ニ上ル大被害ヲ生セシメタリ唯其ノ範圍ハ著シク狭ク米子市附近ニ至リテハ殆ト被害ナク其ノ他ノ地方亦被害ノ極メテ輕微ナリシハ不幸中ノ幸トス各地ノ震度左ノ如シ

イ鳥取市附近

烈震

ロ其ノ他山陰地方

中震乃至弱震

ハ岡山縣下

強震

ニ其ノ他中國地方

弱震

其九州四國近畿中部各地方ハ概ネ微震乃至弱震現在迄判明セル鳥取縣下ノ被害左ノ如シ其ノ他ノ地方ニ於テモ輕傷者家屋ノ破損等ノ被害ナキニアラザルモ其ノ程度極メテ輕微ナリ

死傷

死者

八七〇名

重輕傷者

一七〇〇名

全半潰燒失

全潰

七、七〇〇戸

内鳥取市 四八〇戸

郡部 二九〇戸

半潰 二五〇戸

内鳥取市 一〇〇戸

郡部 一五〇戸

全焼 二〇〇戸

(鳥取市内ニ於テ十二箇所ヨリ発火セルモノナリ)

尚死者、数ハ今後倒潰家屋、取片付ケニ伴ヒ相當増加スル
モノト認メラル

鳥取市内ニ於テハ半潰ニ至ラサリシ家屋モ傾斜破損セルモノ
多ク完全ナルモノ殆トナキ狀況ナリ

尚縣廳、聯隊、鳥取停車場、被害ハ輕微ナリ

郡部ニ於ケル被害ハ鳥取市西方ニ於ケルモノ多キモ東部ニ於
テモ岩美鉦山一帯、被害ハ稍甚大ニシテ、同鉦山、沈殿物敷
積場決潰行衛不明四七名(死^セト推定サル)ヲ出セリ

一警戒警備狀況

地震發生ト共ニ全縣警察官吏(三百五十名)ヲ動員シ、警戒團員、
四千名、應援ヲ求メ、被害狀況ヲ調査セシメ、應急救助、措置
ヲ爲スト共ニ知事告諭ヲ揭示シ市民ニ對シ被害ノ地域ガ
縣下ノ一少地域ナルコトヲ周知セシメタル結果一時昂奮不安ノ狀
態ニ在リシ民心ヲ漸次安定セシムルヲ得タリ 現在倒潰、家
屋、取片付ケ、修理、主要交通路、整理並ニ一般警戒、警火
等ニ從事シツ、アリ 治安上何等憂慮スベキ事案ナシ
尚十一日午前一時三十分内務大臣ハ岡山、兵庫兩縣ニ對シ警察

官吏各五十名、非常應援ヲ命ジ之等ハ概ネ同日午後一時迄ニ現場ニ到着、縣警察官吏ニ協力警備ニ從事中ナリ
別ニ島根縣ヨリ六十一名山口縣ヨリ約二十名、廣島縣ヨリ十三名、警察官吏ヲ應援ノ爲派遣シ大段其ノ他ヨリモ連絡、爲若干、警察官吏ヲ派遣シタリ

中部軍第四部隊ハ十日夜直ニ現地ニ出勤警戒並ニ罹災民ノ救護ニ當リツ、アリ又岡山ヨリ西部第五十二部隊（工兵隊）百五十名モ出勤十二日午前鳥取市ニ到着被害現場ハ復旧ニ當リツ、アリ

一罹災者狀況

市内ニ於ケル倒潰家屋多数ニ上リタルト偶々倒潰ヲ免レタル家屋ニ在リテモ半潰或ハ極度ニ傾斜シ危險ヲ伴ヒ殆ト使用ニ

堪、サレドモ罹災者ハ大部分ハ道路、空地、社寺境内、運動場等ニ古板、雨戸、延等ヲ張り或ハ傘ヲ以テ雨露ヲ凌グ程度ノ簡素ナル假住居ヲ急造シ相次グ余震ニ競々トシテ一夜ヲ明ニソルカ夜明ケト共ニ學校、講堂、サーカス、假小屋其ノ他比較的堅牢ナル建物ヲ物色シ集團的ニ收容シタルモ尚餘震止マズ危險去ラサルヲ以テ屋外避難者ハ依然多数ヲ占ムル狀況ナリ

十一日午後五時頃ヨリ雷ヲ伴フ豪雨アリ其ノ後又強雨續キ濡レツ、アル者甚カラス、健康上懸念セラレツ、アリ

電燈ハ尚矣燈不能ナルモ十二日中ニ矣灯セシムベク努力中ナリ水道ハ低地域ニ於テハ使用可能トナリタルモ高台ニ於テハ水壓低下ノ爲使用困難ナリ

米穀其ノ他生活必需物資ニ付テハ町會隣組、組織ヲ通ジ配

給ヲ行ヒ、アリ當初多少不圖滑ナル矣アリシハ免レザリシモ
漸次順調ニ向ヒツアリ

一、救護状況

重軽傷者救護ニ付テハ、災後直ニ縣衛生課長指揮ノ下ニ衛生
職員、開業医等ヲ動員シ治療ヲ加ヘツ、アリ

内務大臣ハ十一日午前一時三十分岡山、兵庫、大阪、京都各
府縣ニ對シ各適當數ノ救護班員ノ應援派遣ヲ命ジ速ニ編
成、上資材ヲ携行出發セシメタルガ別ニ鳥取縣ヨリノ直接
要請ニ依リ或ハ廣島、山口兩縣其ノ他ノ自發的救援ニ依ル
救護班ハ十一日午後以來順次ニ現場ニ到着シツ、アリ市内
ニ於ケル病院ハ相當ノ被害ヲ受ケタルモ幸ニシテ日本赤
十字病院ハ被害ヲ免レタルヲ以テ本病院ニ救護本部ヲ置

キ銳意救護ニ努メツ、アリ

倒潰家屋、下敷トナリタル死者ニ付テハ警察官吏指揮ノ
下ニ各地警防團、應援ヲ得テ極力屍体、搬出ニ努力中
ナリ 尚其、收容ニ要スル棺箱、骨壺等多數ヲ要シ目
下市内及郡部、大工等ヲ召集シ應急ノ措置ヲ講ジツ
アリ

一、救援復舊措置

海軍ニ於テハ十一日夕刻舞鶴鎮守府所屬驅逐艦ニ軍醫、下士官、看護婦及毛布、蚊帳、主食品、漬物類醫療品ヲ積ミ舞鶴ヨリ出發セシメラレ丁二日ニハ鳥取市ニ到着救援救護ニ努メラレツツアリ

農林省ニ於テハ震災及十月ノ端境期ニ備タル爲 米一萬石ヲ神戸ヨリ鐵道ニ依リ輸送スルコトニ決定發送手配中ナリ

商工省ニ於テハ取敢ヘズ左記物資ヲ災害地ニ急送スルコトトシナリ
田中ニ手配ヲ了シタリ

釘	ハ三三様	豆鉛鐵板	六七〇枚
針金	一〇〇巻	毛布	一五〇〇枚
單手	一〇〇〇〇双	浴衣	一〇〇〇〇枚
タオル	一〇〇〇〇本	地下足袋	一〇〇〇〇枚

マッチ 三六〇〇〇

鋸 七 咫

アルミ鍋 一〇〇〇個

アルミ釜 一〇〇〇個

陶磁器食器類

アルミ釜 一〇〇〇個

鍋、釜、飯茶碗、皿、土瓶、コンロ、汁碗、其ノ他各四千

箇乃至五萬箇

厚生省ニ於テハ藥品其ノ他醫療材料多數ヲ大阪市及岡山市ヨリ急送スルコトトミ手配シタリ

大藏省ニ於テハ銀行預金拂出ノ非常取扱、國債々券ノ買上、國民貯蓄組合、食糧ノ配給、租税納付ノ猶豫、災害ニ因ル地方團體ノ臨時所要資金ノ融通方針等ヲ關係廳ニ指示シテ遺憾ナキヲ期シツツアリ
又復舊作業上トラックノ緊要ナルニ鑑ミ鳥取縣ヨリノ要望ニ基キ既ニ岡山縣ヨリ十臺ヲ出發セシメタルガ更ニ大阪府、兵庫縣ヨリモ派遣方手配中ナリ

一、交通通信状況

交通通信機関ノ障礙ニ付テハ各方面共極力之ヲ復旧ニ努メタル結果漸次復旧ヲ見ツツアリ現況左ノ如シ

(1) 鉄道(大阪鉄道局調)

山陰本線

居組(兵庫)——鳥取——松崎間(六。料)

右区間中居組——岩美間 十六日十七時開通見込

岩美——松崎間ノ復旧見込立タズ

因美線

鳥取——郡家間(一。料) 今日(十二日)十七時十四分ニ復

旧済

倉吉線

上井——倉吉間十一日十三時復旧済

倉吉——関金間復旧見込立タズ

若櫻線

十一日七時三十分復旧セリ

伯備線

被害ナシ

尚兵庫縣浜坂、鳥取間及米子、鳥取間ニハ船舶連絡ヲ取リツツアリ、米子、鳥取間ハ辛ジテ自動車ヲ通ズ

(2) 通信

警察電話

鳥取市ヲ中心トシテ相當範圍ニ亘リ大部分不通トナル目下内務省及隣接各縣大阪府等ヨリ復旧資材ヲ携行セシ技術者ノ應援ヲ受ケ幹線ヲ第一トシ極力復旧作業

中ニシテ今明日中ニハ内務省鳥取縣廳間ノ通話可能ト
ナル見込ナリ

大阪市中部防衛司令部ト鳥取監視隊本部(縣庁内)
間ノ一田線ハ十一日午前中ニ復旧開通シ、内務省トノ連絡
幹線トシテ使用セラレツツアリ

通信通信

鳥取ヨリ大阪神戸、姫路間ノ電信回線ハ既ニ復旧セリ
鳥取局ヲ中心トスル長距離電話線ハ本日中ニ復旧ノ見
込、鳥取市内電話線ハ昨十一日既ニ開通セリ

岡山、米子間ハ電信電話共被害ナシ

鉄道電話

兵庫——鳥取間 開通

岡山——鳥取間 開通

米子——鳥取間 被害ナシ

一、内務大臣其ノ他ノ視察慰問

内務大臣ハ十一日正午、飛行機ニ依リ羽田發午後二時二十分
米子ニ到着、自動車ニテ鳥取ニ向ヒ途中状況、視察及慰
問ヲ行ヒツツ十二日午前二時鳥取市ニ到着、十二日ハ鳥取市

内ノ視察慰問ヲ行ヒツツアリ

尚内務大臣ニハ左ノ関係各省官吏随伴出張シ夫々所管事
項ニ付キ視察連絡ヲ行ヒツツアリ

内務省 北村經濟保安課長

情報局 下野週報課長

商工省 入江物資動員課長
農林省 荒井食糧管理局検査課長
厚生省 井上保護課長
尚別ニ内務省ニ於テハ地方局、國土局、防空局ヨリ関係課長、
事務官、技師ヲ急派シ、他省ニ於テモ同様ノ措置ヲ講セラレツ
ッアリ

I-0938

0235

調査局中

第四報

七

昭和拾八年九月拾參日



山陰地方地震被害状況(第十八報)

警保 五町

昭和十八年九月十一日午後土時

○大阪府警所課長より連絡(九月十日午後四時三十分)

一 駆逐艦ニ依ル海軍救援隊ノ状況左ノ如シ

内海軍之人等 一三二名 内警官二

看護婦五
下士官等三五

四米、乾麺、衛生材料、調味料等ヲ相當多量携行シ
タリ

○兵庫縣情報(九月十日午後四時四十分)

中部防衛司令部本日十四時郡家驛着ノ豫定ヲ以テ
醫療材料郵便車輛其ノ他衛生材料等相當量到着ヲ
見込發送ヲ為シ居リ

○岡山縣經由鳥取縣報告(十日午後五時三十分)

十二日午前十時現在ニ於ケル交通々信關係復舊状況
左ノ如シ

一 近信愛談 市内重要加入者三十一ニ對シテ復舊大

阪、神戸ニ對スル重要通信ハ三〇以上ヲ認メズ

二 警務愛談 復舊ノ見込立タズ(不通)

三 放送局 鳥取放送局「アンテナ」切斷ノ為

放送不能ナルモ大阪、広島岡山等ヨリ派遣要員ガ

放送自動車ト受信機一〇台携行到着ノ予定

ニ付明朝ヨリ放送可能ナリ

四 愛信 十一日午後一時三十分大阪線復舊十二

日午後三時四十分神戸線復舊ノ予定

五郵便

本日午前九時集配共ニ取扱開始

六保険

明朝午前八時ヨリ事務開始ノ予定

七交通機関

山陰本線ハ本日一五〇名ノ増援部隊到着復舊ニ努メツアリ鳥取市ヲ中心トスル不通箇所西松崎東ニ居組ニレテ銳意之ハ復舊ニ努メツアリテ概ネ十六日開通ノ見込

八金融関係

(一) 本十二日勸業銀行鳥取支店関係者ヲ招キ信用組合各銀行家等協議ノ結果特別當座預金ハ通帳印鑑損失者ニ在リテモ又〆以内ニ制限シテ確認支拂ヲ開始ス

(二) 山陰労働人金庫鳥取支店ハ西支店建築物焼失シタルニ書類其ノ他被害ナシ

(三) 鳥取信用組合、縣信聯ニ於テハ本日事務開始ノ予定ヲ以テ準備中ナルハ單位組合ト協議シテ積極的ニ要求ニ應スル所

(四) 鳥取郵便局ニ於テハ圖書館ニ假事務所ヲ設置シ尚十二日ヨリ事務開始ノ旨、通帳、印鑑紛失者ハ預金局ニ照會シ支拂フ。市外無集配局ハ支拂セズ

大体現在ノ所預金者アルモ引出ス者ナシ

(五) 安田銀行鳥取支店ハ明十三日ヨリ業務ヲ開始シ通帳印鑑紛失者ニ對シテモ確認支拂ヲ為ス

(六) 参考事項

目下ノ所特異ナルモノナキモ非常事態ト金融不安等無キ様指導ニ努ムルト共ニ推移注意中

凡、現在迄ニ判明セル學校關係被害状況左ノ如ク

(一) 中學校

全潰 一
半潰 三

死者 職負 四
生徒 一五

(二) 國民學校

全潰 五
半潰 三

死者 職負 六
児童 五八

罹災児童 一萬

白學校損害見積 約 五〇〇萬圓

○兵庫縣情報 (十二日午後七時)

本日午前十時頃岡山ヨリ工兵隊一ヶ中隊(一二〇名)舞鶴ヨリ海軍部隊一〇〇名到着、主トシテ死体ノ捜査

倒潰家屋ノ除却及道路ノ用整ニ當リツツアリ、
ト共家屋ノ除却ハ容易、業ニ非ズ此ト共死、活
動ニ依リ大條市内主要交通路ハ支障ナキ程度
ニ進捗ヲ見タリ

○岡山縣經由鳥取縣報告(十一日午後八時五分)

一 資材關係 醫藥品等ノ應急復舊資材ハ在庫中

手持品ヲ重莫的ニ指導販賣セシメ居レリ

セメント、釘、針金、在庫少ク不足ス

二 重要食料、鳥取市確保、米穀ニメロ儀、卸業

者ノ在庫副食物及救援用物資、遂次入荷

ニ依リ不安ナシ

三 福田輕飛行機株式會社湖山工廠、被害

(一) 全潰 実習工場等 三〇坪

社宅(二棟) 三〇坪

二 半 潰

社宅(三棟)……一坪

機園場(一棟)

五〇坪(機園使用不能)

其ノ地……寄宿舍廊下

三 負傷者

輕傷者男工一名

四 其他軍機直清、輕傷者機主翼三機分損潰

四 朝人関係

就勞者五〇名中死者二名負傷者

三名ナルモ動搖ナシ

四 米子氣象台ノ見解

之震ハ順調ニシテ人々後十日間位相當程度ノ

モノアルモ第一日ノ如キモノナキ見込

五 因美線ノ開通

本日午後六時上リ始業ヨリ開通

六 天候

降雨ハ午後三時頃ヨリ豪トナリ午後四時三十五分現在路上ニ〇糶乃至三〇糶

以上

調査局

第四課長

昭和拾八年九月拾参日接電

山陰地方地震被害状況(第十九報)

総務局

第三課長

昭和十八年九月十五日午前四時

○大阪府經由鳥取縣報告(昭和十八年九月十五日午前二時半)

一十三日午前零時現在ニ於ケル被害状況左ノ如シ

分類 2,600 戸

區 分	鳥取市	郡 部	計	摘要
人 死 者	七 七 五	一 六 一	九 三 六	
重 傷 者	四 八 八	五 一	五 三 九	二、〇九五
被 輕 傷 者	一、九 九 六	三 六 〇	一、五 五 六	
行方不明	一	一	二	
計	二、四 五 九	五 七 二	三、〇 三 一	
家 全 潰	四 八 三 九	一、三 〇 一	六、一 四 〇	二、二九一

屋 半 潰	全 焼	半 焼	計
二 八 八 七	一 八 八	一	七、九 一 四
二、二 六 四	七	一	三、五 七 二
五、一 五 一	一 九 五	一	一、一、四 八 六

二 戸 数

鳥取縣下

九四、二四二戸

三 人 口

鳥取市内

一、〇、四四四戸

四 十 三 日 午 前 零 時 以 後

鳥取縣下

四七、四三八人

但レ本日(十三日)ガスト

鳥取市内

四八、八三三人

者増加ノ虞アリ

鳥取縣下

四八、八三三人

五 鳥取縣下ヘノ救援職負

鳥取市内

四八、八三三人

官 官

鳥取縣下

四八、八三三人

調 査
18.9.14
庶務

(四)	救護隊	醫師	七一名
	看護婦	二三名	
	其ノ他	一五九名	
(三)	鐵道職員	一四九六名	
(二)	水道職員	二八名	
(一)	愛燈職員	六一名	
	愛信職員	二七〇名	
	計	二四四一名	
		以上	

I-0938

0232

瑞西公使	本居	9月14日附
鳥取地方、被害二千人、哀悼、慰 表、紙、一件		

LEGATION DE SUISSE

AU JAPON

L.3.1.1.-dat.

Tokio, le 14 septembre 1943.

様

Monsieur le Ministre,

C'est avec une vive émotion que j'ai appris la douloureuse nouvelle de la catastrophe qui a jeté la mort et la désolation dans la ville de Tottori et la région avoisinante. Aussi ai-je l'honneur d'adresser à Votre Excellence mes profondes condoléances pour le grand malheur que vient d'éprouver le Japon et qui a plongé dans le deuil et l'affliction tant de foyers japonais.

Je saurais être à Votre Excellence de consentir à se faire l'interprète de ma sympathie émue auprès du Gouvernement Impérial.

En vous renouvelant l'expression de mes sentiments profondément attristés pour les infortunées victimes du séisme, je vous prie d'agréer, Monsieur le Ministre, les assurances de ma très haute considération.

Le Ministre de Suisse:



A Son Excellence

Monsieur Memoru Shigetatsu,

Ministre des Affaires étrangères,

Tokio.

I-0938

分類 26005

調査局

第四課

昭

昭和拾八年九月拾六日

18.9.17 第三課

18.9.17 庶務

山陰方面地被害状況

(第二十報)

警保局
昭一八九一五前八時

一九月十四日正午迄ニ判明セル被害状況次通り

鳥取市

死者 女男 二五八 一六一 計 八四七名

重傷者 女男 三二九 一七九 計 五〇八名

軽傷者 女男 一〇〇 九七九 計 一〇七九名

(一) 郡部

1) 気高郡

死者 女男 四四〇 四八〇 計 八八〇名

重傷 女男 四三七 三八七 計 八二四名

軽傷 女男 一八二 二二三 計 四〇五名

2) 東伯郡

死者 女男 一三 一三 計 二六名

重傷 女男 二 二 計 四名

3) 岩美郡

死者 女男 一一 二六 計 三七名

重傷 女男 一五〇 一五〇 計 一五〇名

(軽傷ナシ)

I-0938

0234

(一) 鳥取市(家屋被害)

全潰	五九〇戸
半潰	二九一九戸
全焼	二四七戸
半焼	一六戸
全潰	一一三七戸
半潰	一九〇一戸
全潰	二〇戸
半潰	三九戸
全潰	六五八戸
半潰	一〇三〇戸

(二) 氣高郡

全焼 七戸

(三) 東伯郡

(四) 岩美郡

(4) 八頭郡

輕傷	女 一八七	男 一八七	計 二五名
死者	女 一五	男 一三	計 二八名
重傷	女 四	男 六	計 一〇名
輕傷	女 二	男 六	計 八名

以上の被害總計

死者	女 六	男 五四	計 一〇〇五名
重傷者	女 三八	男 二八	計 六五八名
輕傷者	女 一三	男 二〇	計 二四二六名

(五) 八頭郡

全潰 二二戸
半潰 三二戸

以上家屋被害總計

全潰 七五二七戸 全燒 二五四戸
半潰 六一一戸 半燒 一六戸

二十四日午後一時五十分大阪中継島取縣ヨリ、報告ニ依レバ

學校、道路、工場等、被害次、通り

(一) 學校中被害、比較的大ナルモ、左、如シ

中等學校 全潰 一
半潰 四

國民學校 全潰 五
半潰 二

對策トシテバラック建造ニ部制採用、方途ヲ謁ジツ、ア

(二) 道路、橋梁被害

道路損壞 五五ヶ所 修理費用見積 一五、〇〇〇円

橋梁損壞 一九ヶ所 全 一八、五七五円

河川損壞 四二ヶ所 全 五一、一五円

右被害、應急修理、順調ニ進捗シ、十四日中ニハ全線自動車交通可能、見込ナルモ本格的修理計画、未タ確定ニ至ラス

(三) 工場被害

比較的被害大ナルモ、二。工場アルモ、概ネ小規模工場ナリ
復旧ニハ二十日乃至三十日ヲ要スルモノ多ク、中ニハ復旧、見込ナキモノアリ

尚被害工場、内訳左、通ニシテ之ガ関係労働者男一、二七四名
廿九二名、内全潰、七。棟(五、七、七坪)損害見積、二、三三、八〇〇円ナリ

兵器製造工場	五	造船工場	一	家具工場	三
航空機製作工場	二	自動車工場	一	製紙工場	二
ポンプ製作工場	一	ホイール工場	一	其、他	二
製材工場	一	農具工場	一	計	二〇

I-0938

分類 160.05

外務省
文書課

昭和十八年九月十五日正午綜合

鳥取 下懸災ノ情況 (第二十一報)
(情報ハ本報ヲ以テ一應打切トス)

内務省
警保局

秋

手記

0230

被害概況

昭和十八年九月十日午後五時三十七分鳥取市附近ヲ震源地トシテ發生シタル今次地震ハ鳥取市及其ノ附近ニ於テ極メテ強烈ニシテ死傷四千數十名、全半潰一萬戸餘ニ上ル大ナル被害ヲ生ゼシメタリ然レ共其ノ範圍ハ著シク狭ク米子市附近ニ至リテハ全然被害ナク其ノ他ノ地方亦殆ド罹災ヲ見ザリシ情況ナリシガ之ガ各地方別ノ震度左ノ如シ

イ、鳥取市附近 烈震
ロ、其ノ他山陰地方 中震乃至弱震
ハ、岡山縣下 強震
ニ、其ノ他中國地方 弱震
ホ、九州、四國、近畿、中部各地方ハ概ネ微震乃至弱震

而シテ現在判明セル鳥取縣下ノ被害ハ次表ノ如シ
村人被害表

計	八頭郡	岩見郡	吉伯郡	氣高郡	鳥取市	區別		種別
						男	女	
三五四	一三	一一		四〇	一八	男	女	死
六五二	一五	二六		四八	五六	男	女	死
一〇〇五	二八	三七	四	八八	一八八	男	女	死
二八二	六	一〇	一	三七	二二九	男	女	重傷
三七六	四	五	二	四八	三一七	男	女	重傷
六五八	一〇	一五	二	八五	五四六	男	女	重傷
一〇〇四	六	七	一	一八二	一〇〇九	男	女	輕傷
一三三三	二	一八	一	二二三	九七九	男	女	輕傷
一四二六	八	二五	一	四〇五	一、九八八	男	女	輕傷

(二) 家屋被害表

区域別	全 潰		半 潰	
	全潰	全焼	半潰	半焼
鳥取市	五六九〇	二四七	五、九三七	二、九一九
氣高郡	一一三七	七	一、一四四	一、九〇一
東伯郡	二〇	一	二〇	三二九
岩美郡	六五八	一	六五八	一〇三〇
八頭郡	二二	一	二二	一
計	七、五二七	二五四	七、七八一	六、二一一
				一六
				六、二二七

右ニ依レバ死傷者總數四、〇八九名家屋罹災總數一四、〇〇八戸ヲ算
セラレ尙今後倒潰家屋ノ取片付等罹災地ノ復舊ニ伴ヒ死者數ハ總分増加
ナル見サルト共ニ半潰ニ至ラザルシ家屋モ傾斜破損セルモノ多ク鳥
取市内ニ於ケルモノハ完全ナルモノ殆ド殘存セザル情況ナリ

郡部ニ於ケル被害ハ鳥取市西方ニ於ケルモノ多キモ東部ニ於テモ岩美
嶺山一帯ノ被害ハ稍甚大ニシテ、同嶺山ノ沈没物載積場決潰死者四七
名ヲ出セリ

二、避難準備ノ状況
地震發生ト共ニ全ニ避難官吏(三百五十名)ヲ動員シ、警防團員四千
名ノ出動ヲ求メ、被害状況ヲ調査セシメ應急救助ノ措置ヲ爲スト共ニ
知事告諭ヲ頒示シ市民ニ對シ被害ノ地域ガ區下ノ一少地域ナルコトヲ
周知セシメタル結果一時昂奮不安ノ状態ニ在リシ民心ヲ漸次安定
セシムルヲ得タリ、現在倒潰家屋ノ取片付ケ修理、主要交通路ノ整理
並ニ一燈森戒、警火等ニ從事シツツアリテ治安上何等憂慮スベキ事
ナ

尙十一日午前一時三十分内務省ハ岡山、兵庫兩縣ニ對シ警察官吏各五十名ノ非常應援ヲ要請シ之等ハ概ネ同日午後一時迄ニ現場ニ到着、縣警察官吏ニ協力警備ニ從事中ナルト共ニ島根縣ヨリ六十一名、山口縣ヨリ約二十名、廣島縣ヨリ十三名ノ警察官吏ヲ應援派遣シ大阪其ノ他ヨリモ連絡ノ爲若干ノ警察官ヲ派遣シタリ

一方中部軍第四七部隊ハ十日夜直ニ現地ニ出動警戒並ニ罹災民ノ救護ニ當リツツアリ又岡山ヨリ西部第五十二部隊（工兵隊）百五十名モ出動十二日午前鳥取市ニ到着被害現場ノ復舊ニ當リツツアリ

三、罹災者ノ狀況

市内ニ於ケル倒潰家屋多數ニ上リタルト偶々決潰ヲ免レタル家屋ニ在リテモ半潰或ハ極度ニ傾斜シ危險ヲ伴ヒ殆ト使用ニ堪ヘザル爲罹

災者ノ大部分ハ道路、空地、社寺境内、運動場等ニ布板、雨戸、蓆等ヲ張り、或ハ傘ヲ以テ雨露ヲ凌グ程度ノ簡素ナル假住居ヲ急造シ相次ノ餘震ニ競々トシテ一夜ヲ明シタルガ夜間ケト共ニ學校、講堂、サーカスノ假小屋其ノ他比較的堅牢ナル建築物物色シ集團的ニ收容シタルモ尙餘震止マズ危險去ラザルヲ以テ屋外避難者ハ依然多數ヲ占ムル狀況ナリ

十一日午後五時頃ヨリ雷雨アリ其ノ後モ強雨續キタル爲雨中ニ居ルモノハ少カラズ健康上懸念セラルル情況ナリ

電燈ハ尙點燈不能ナルモ十二日中ニ點燈セシムベク關係方面ニ於テ努力シツツアリシトコロ現在ハ復舊完クナリタリ

水道ハ低地域ニ於テハ使用可能トナリタルモ高臺ニ於テハ水壓低下

爲未だ一部停頓困難ナリ

米穀其ノ他生活必需物資ニ付テハ町會、隣組ノ組織ヲ通ジ配給ヲ行ヒツツアリテ當初多少不圓滑ナル點アリシモ漸次順調ニ向ヒツツアリ、不安ナシ

四、救護狀況

重輕傷者救護ニ付テハ災物直ニ縣衛生課長指揮ノ下ニ衛生職員調業醫等ヲ動員シ治療ヲ加ヘツツアリ

内務省警保局ハ十一日午前一時三十分岡山、兵庫、大阪、京都各府縣ニ對シ各適當數ノ救護班員ノ應援派遣ヲ手配シ速ニ編成ノ上資材ヲ携行出發セシメタルガ別ニ鳥取縣ヨリノ直接要請ニ依リ廣島、山口兩縣其ノ他ノ自發的救援ニ依ル救護班ハ十一日午後以來順次ニ現

場ニ到着シツツアリ市内ニ於ケル病院ハ相當ノ被害ヲ受ケタルモ幸ニシテ日本赤十字病院ハ被害ヲ免レタルヲ以テ本病院ニ救護本部ヲ置キ銳意救護ニ努メツツアリ

倒潰家屋ノ下敷トナリタル死者ニ付テハ警察官吏指揮ノ下ニ各地警防團ノ應援ヲ得テ死力屍體ノ搬出ニ努メスルト共ニ其ノ收容ニ應スル棺箱、骨壺等多數ヲ要スルヲ以テ市内及郡部ノ大工等ヲ召集シ應急ノ措置ヲ講ジタリ

五、救護復舊措置

海軍ニ於テハ十一日夕刻舞鶴鎮守府所屬驅逐艦ニ軍醫、下士官、看護婦及毛布、蚊帳、主食品、漬物類醫藥品ヲ積ミ舞鶴ヨリ出發セシメラレ十二日ニ鳥取市ニ到着救援救護ニ努メラレタリ

農林省ニ於テ、震災及十月ノ端境期ニ備フル爲米一萬石ヲ神戸ヨリ
鐵道ニ依リ輸送シ既ニ現地ニ到着セリ

商工省ニ於テハ取敢ヘズ左掲物資ヲ災害地ニ急送スルコトトシ十一
日中ニ手配ヲ完了スルトコロアリ

釘	八三三樽	亜鉛鐵板	六、七〇〇枚
針金	二〇〇卷	毛布	一五、〇〇〇枚
軍手	一〇〇〇〇双	浴衣	一〇、〇〇〇枚
タオル	〇〇〇〇本	地下足袋	一〇、〇〇〇枚
マッチ	三六〇〇〇		七 疋
アルミ鍋	一〇〇〇個	アルミ釜	一、〇〇〇個
陶磁器食器類		ロソク	若干

鍋、釜、飯茶碗、皿、土瓶、コンロ、汁碗、其ノ他各四、五千個
乃至五萬個

厚生省ニ於テハ藥品其ノ他醫藥材料多數ヲ大阪市及岡山市ヨリ急送
スルコトトシ手配シ

大藏省ニ於テハ銀行預金拂出ノ非常取扱、國債債券ノ買上、國民貯
蓄組合ノ貯蓄ノ拂戻、食糧ノ配給、租税納付ノ猶豫、災害ニ因ル地
方團體ノ臨時所要資金ノ融通方針等ヲ關係廳ニ指示シテ遺憾ナキヲ

期シツツアリ
又復舊作業上トラツクノ緊要ナルニ饒ミ鳥取縣ヨリノ要望ニ基キ先
ヅ岡山縣ヨリ十臺ヲ出發セシメタルガ更ニ大阪府、兵庫縣ヨリモ夫
々急送スル様手配シテ數十臺ノトラツクヲシテ震災地ニ於ケル輸送

業務ニ精勵セシメツツアル現況ナリ

六、交通通信ノ狀況

交通通信機關ノ障礙ニ付テハ各方面共極力之ガ復舊ニ努メタル結果
漸次復舊ヲ見ツツアリ現況左ノ如シ

(1) 鐵道（大阪鐵道局調）

山陰本線 居組（兵庫）― 鳥取間ノ中居組 岩美間十六日十

七時開通見込

岩美―松崎間二十日開通見込ニシテ同本線ノ全通ハ概ネ二十

日ノ豫定ナリ

因美線 十三日全通

倉吉線

土井―倉吉間十一日十三日復舊済

倉吉―金間復舊見込立タズ

若槻線

十一日七時三十分復舊セリ

山陽線

備前線

尙兵庫縣濱坂、鳥取間及米子、鳥取間ニハ船舶連絡ヲ取リツツア
ルト共ニ鳥取―陸上間（陸上居組間）徒歩連絡（ハ省線バスヲ以テ

十三日正午ヨリ毎日三往復ノ輸送ヲ開始セルガ泊、鳥取間ハ未ダ

辛ジテ自動車ヲ通ズル實情ナリ

(2) 通信

警察電話

鳥取市ヲ中心トシテ相當範圍ニ亘リ大部分不通ナリシガ内務省
及隣接各縣大阪府等ヨリ復舊資材ヲ携行セル技術者ノ應援ニ依
リ幹線ヲ第一トシ極力復舊作業ヲ行ヒ十三日午後一時五分内務
省鳥取縣廳間ノ通話可能トナリタリ
大阪市中區部防衛司令部ト鳥取縣視察隊本部（縣廳内）間ノ一回線
ハ十一日午前中ニ復舊開通シ、内務省トノ重要連絡幹線トシテ
使用セラレ居リタルモノナリ

遞信通話

鳥取ヨリ大阪、神戸、姫路間ノ電信回線モ亦十二日中ニ復舊シ、
鳥取市内電話線ノ一部十一日既ニ開通セリ

鐵道電話

岡山、米子間ハ電信電話共復舊ナカリキ

兵庫―鳥取間 開通

岡山―鳥取間 開通

米子―鳥取間 被害ナシ

七、救護、救護物資ノ狀況

別表ノ如シ

鳥取縣下震災救援物資一覽表

種別 名稱	發送府縣名						
	大	阪	兵	庫	岡	山	計
米			一三五〇俵	七五〇〇俵			八八五〇俵
乾パン	三〇〇〇〇食						三〇〇〇〇食
味噌			一〇〇貫		一〇〇〇貫	三五〇貫	一、九五〇貫
鹽			五俵				五俵
梅干					九〇〇貫	三〇〇貫	一二〇〇貫
佃煮	一、三〇〇貫			一〇〇〇貫	五〇〇貫		二、七〇〇貫
氷			五噸				五噸
馬鈴薯				六〇〇〇貫			六〇〇〇貫
玉葱	二、二〇〇貫						二、二〇〇貫
澤庵							二、二〇〇貫
干魚					一〇〇貫		一、五〇〇貫
詰	一、〇〇〇〇個			六〇〇〇個		三、六〇〇〇個	一、一〇〇〇〇個
油				五石			五石
酒				五石			五石
毛布	五、〇〇〇枚						一五〇〇〇枚
軍手	一、〇〇〇枚						一〇〇〇枚
浴衣	四〇〇枚						四〇〇枚
浴衣地	八〇〇反						八〇〇反
タタミ	二、〇〇〇本						一〇、一〇〇本
地下足袋				一〇〇〇〇足			一〇〇〇〇足
縫糸	四、八〇〇匁						四、八〇〇匁
肌衣	五、〇〇〇枚						五、〇〇〇枚
作業衣							五、〇〇〇枚
サラシ							一、〇〇〇人分
メンネル							一、〇〇〇人分
蒲團	三〇〇組			一〇〇組			九〇〇組
其他材料	七〇〇〇〇〇點	四〇〇〇〇〇點	四〇〇〇〇〇點	五〇〇〇〇〇點	三〇〇〇〇〇點	二、五〇〇〇〇〇點	二、八五〇〇〇〇點

I-0938

[illegible]

備考

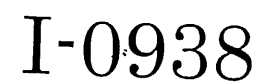
(二) 計欄ノミ記入ノ數字ハ主務管ヨリ手配セルモノヲ示ス

本表記入以外ニ左ノ如ク救援ス

- (1) 静岡、愛知兩縣ヨリ里芋四〇〇、〇〇〇貫發送
- (2) 和歌山縣ヨリ梅干三〇〇樽發送

I-0938

02:17



4. 復旧計画

主要被害、路盤又築堤、陥没坑下等ニシテ
不致取原形ニ應急復旧、手配中ナリ他、
鉄道局ヨリ約800名、自衛隊ニ動員セルモ、
約300名が従事ニ居リ。

現在不通箇所又開通予定下記ノ如シ。

不通箇所	開通予定	記 事
浜村・空木	24日	路盤陥下2ヶ所(最大1米) 工區運転中
空木・末恒	25	白雲・假歌等修場傾斜 路盤陥下10ヶ所(最大5米)
末恒・湖山	25	路盤陥下龜裂陥没4ヶ所
湖山・鳥取	25	千代川橋台、野高川橋脚陥下、 路盤陥下5ヶ所
鳥取・塩見	23	築堤又路盤陥下軌道屈曲移動 21ヶ所 工區運転中
塩見・若美	23	21ヶ所600~897築堤陥下、蓋上 1500米又更に5000米ニテ開通予定
若美・居組	16	21ヶ所附近断層(深47米~8米) 路盤陥没亀裂5ヶ所

5. 輸送状況

- (1) 因美線ハ12日17時14分開通ニツキ、山陽
方面ヨリ因美線全由、列車ヲ鳥取ニ運転ス。
- (2) 若櫻線ハ11日7時30分、倉吉線ハ13日
15時15分開通、列車ヲ運転ス。

(3) 山陽本線

(i) 京都方面

10日22時居組迄開通ニ列車ハ居組
駅ニテ折返ス。

居組・若美間16日12時開通予定。

(ii) 米子方面

11日8時下松崎迄開通。

14日9時48分浜村迄開通、目下浜村
駅ニテ折返ス。

(iii) 自動車連絡

若美・鳥取間、16日午後ヨリ自動車6台ニ
テ3往復運転開始、予定。

以上

鉄道省
18. 9. 15. 12時

山陰線地震被害概況

1. 発生時分

昭和18年9月10日 17時37分

2. 被害範囲

- (1) 山陰本線 鎧・糸崎間 延長 106 軒
- (2) 田美線 鳥取・那岐間 39 軒
- (3) 若杉線 郡家・若櫻間 19 軒
- (4) 倉吉線 上井・関金間 15 軒

3. 被害状況

(1) 線路被害

種別	線別				計
	山陰本線	田美線	若杉線	倉吉線	
築堤沈下	1	2			3
路盤陥没沈下	56	2	3	6	67
橋梁沈下傾斜	9			1	10
石垣倒壊	3	1			4
建物倒壊	12				12
切取崩壊	1	2			3
計	82	7	3	7	99

備考
度本震、外、多建、敷、下、小、破、損

(2) 運輸事故

運輸事故トニテハ運輸中、列車ニ事故ナカリシトモ、トスル所ナリカ、鳥取駅構内ニ於テ貨車5輛顛覆、4輛脱線セリ。

(3) 主ナル被害

(1) 鳥取駅構内

- 駅舎ハ半壊ニ至ラザルモ内評ノ破壊大ナリ。
- 貨物車庫、貨物上屋等構内、建物全壊又ハ半壊セリ。
- 検問車庫大破ニ至リ、検問車4輛埋没破壊セリ。
- 構内線路被害甚シ。

(2) 辰組・岩美間

211軒310米ヨリ約180米間大断層ヲ生シ高サ8米ニ達ス。(盛土15,600立米、砂利400立米ヲ要ス)

(3) 岩美・塩見間陥没

219軒600米ヨリ約300米間、深サ5米沈下ヲ始メ築堤沈下2ヶ所。(盛土15,000立米ヲ要ス)

(4) 鳥取・湖山間沈下

十代川、野高川等橋脚沈下最大200軒、路盤沈下5ヶ所ヲ生ス。

(5) 末恒・室木間沈下

路盤沈下10ヶ所、最大5米ニ達ス。

秘

電信課長

外務省

大臣

次官

顧問 政務 通商 條約 調査 人事 文書 會計 秘書 弘報

寫送先

分類 I 6.0.0.5

昭和18 一五〇七六 平 盤谷 九月十七日一九〇〇發 政
本省 十八日〇二五五着

重光外務大臣

坪上大使

K第七二號

(「タイ」國ノ鳥取地方震災ニ對スル見舞)

今般「タイ」外務大臣ヨリ公文ヲ以テ鳥取地方震災ニ關シ「タイ」
國政府ノ深厚ナル同情ノ意ヲ帝國政府ニ傳達方依頼越シタリ(了)

外務省

昭和18 一五〇七六 平 盤谷 九月十七日一九〇〇發
本省 十八日〇二五五着

重光外務大臣

坪上大使

K第七二號

(「タイ」國ノ鳥取地方震災ニ對スル見舞)

今般「タイ」外務大臣ヨリ公文ヲ以テ鳥取地方震災ニ關シ「タイ」
國政府ノ深厚ナル同情ノ意ヲ帝國政府ニ傳達方依頼越シタリ

秘

電信寫

I-0938

0251

公	信	案
右帝國政府へ傳達方甲 趣見ニ付 貴方より 一 感謝表 表謝ニ置ケリ 右車輪海軍 奉送送付スニ付 可成り取付 相不度ニ (在本邦 珍貴品 便宜事務 4.3.11. 手島作付)		
外	務	省

(日本標準規格 B 5)

主信 甲 乙 丙 丁 附 屬 備考		發信用 執務用 分 派 I. 6.00 5
文書課 發送日	昭和十八年九月廿二日 發送済	文書課長
主 管	儀典課長	
主 任	儀典課 第一九〇號	
昭 和	昭和十八年九月廿日 附 附屬	
正 校	(原稿) (淨書)	
昭 和	昭和十八年九月廿七日起 草	
名 人 信 受	安藤 内務大臣	名 人 信 發
先付送寫	鳥取市及其附近ノ震災ニ對シ在本邦 瑞西國より深甚 名 件 鳥取地方震災ニ對シ在本邦 瑞西國より深甚 名 件 鳥取地方震災ニ對シ在本邦 瑞西國より深甚	名 件 録 記
公 信 案	鳥取市及其附近ノ震災ニ對シ在本邦 瑞西國より深甚	外務省

(日本標準規格 B 5)

別紙

I-0938

公 信 案	ヲ表シ候 敬具	此機會ニ際シ 本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意	此段同答申進旁	達致置キ候条右様所承知相成度候	表示セラレ感謝、謝儀 右ハ早速内務省ニ傳
-------------	------------	----------------------------	---------	-----------------	-------------------------

發信用執務用		主信 附甲 乙丙 丁 備考		懸案		譯文添附		葉翻譯		記	
文書課發送口		昭和八年九月廿二日發送済		主儀典課長		儀典課第三五七號		昭昭和拾九年九月廿日附屬		昭和中九年九月十六日起草	
管主		儀典課長		任主		昭和中九年九月十六日起草		昭和中九年九月十六日起草		昭和中九年九月十六日起草	
受信人		在本邦		瑞西國代理公使		先付送寫		名件録記		名入信發	
鳥取市及其附近ノ震災ニ對シ深甚ハ同情ヲ		以書翰啓上致候陳者 九月十四日附第 3.1.1 號貴翰ヲ以テ		鳥取市及其附近ノ震災ニ對シ深甚ハ同情ヲ		名件録記		名入信發		名入信發	
外務省		外務大臣		外務大臣		外務大臣		外務大臣		外務大臣	

I-0938

Le 2^e septembre 1943.

no 357/p

貴書記
録
係
長
印

儀
典
課

3

Monsieur le Ministre,

J'ai eu l'honneur de recevoir la lettre No.L.3.1.1.-dat.
du 14 courant, par laquelle Votre Excellence a bien voulu
m'adresser ses profondes condoléances pour le désastre causé
par le récent tremblement de terre à la ville de Tottori et
la région avoisinante.

Je suis très ému de ce témoignage de sympathie et me suis
empressé de communiquer la teneur de ladite lettre au
Ministère de l'Intérieur.

Veuillez agréer, Monsieur le Ministre, les assurances
réitérées de ma haute considération.

Signature du Ministre.

I-0938

0254

秘

電信寫

16005

大東亞省

主管 總總（南政、交）

昭和18 一四四五八 略 盤谷 九月二十二日前發
本省 二十二日後着

青木大東亞大臣

坪上大使

K（大東亞各大臣宛）第七三號

（「タイ」國政府ノ鳥取縣地震救恤米送付ノ件）

十八日附公文ヲ以テ「ウイチット」外務大臣ヨリ「タイ」國政府ハ
鳥取縣地震災害救恤品トシテ十萬「バーツ」ニ相當スル米ヲ送付ス
ルニ決定シタル旨竝ニ右ニ關シ商務省ハ最近ノ機會ニ於テ右米ヲ本
邦ニ輸送方當館ト連絡スル様訓令セラレタル旨申込スト共ニ右帝國
政府ヘ傳達方依頼越セリ
外務大臣ヘ轉報アリタシ
（電文中數字ハ一〇〇〇〇〇ナリ）

I-0938

0255

外務省

委細加三
街承云、上可
為河取計

別來毛病瘡
作

(日本標準規格 B 5)

發信用		執務用			
主信					
附屬	甲	乙	丙	丁	
備考					

分類 I. 6005

文書課發送日 昭和八年九月廿一日發送済 管主 任主		昭和八年九月廿二日附屬	
職權普通第一九二號		昭和八年九月廿二日附屬	
名人信受 内務次官		名人信發 外務次官	
先付送寫 名件 易取地方震災、對々、夕一國見舞 閣下件		名件錄記	
本件、閣下、今般在盤谷、坪止大使 紙為一通電報趣、是日二付			

公信案

外務省

(日本標準規格 B 5)

22 1

別紙

In this connection I have instructed the authorities concerned to send to Japan Thai rice, the value of which is equivalent to 100,000 Baht for the relief of those sufferers in the recent earthquake and to express to them sympathetic feelings of the Thai people, the ally of Japan, towards their brethren, the Japanese People.

(Signed) Field Marshal P. Phibun Songthram."

I have already communicated the above to its destination and take this occasion to bring the same to your knowledge.

I avail myself of this opportunity, Monsieur le Ministre, to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.


Thai Ambassador.

I-0938

分類 16005

No. 125/1155



ROYAL THAI EMBASSY,
TOKYO.

25th September, 1935.

Monsieur le Ministre,

With reference to our conversation, in the course of which I had conveyed, through Your Excellency, to the Imperial Japanese Government, His Majesty's Government's profound regret on the recent earthquake at Rotori, I have the honour to inform you that in this connection I have been instructed to convey to His Excellency General Hideki Tojo, the Japanese Prime Minister, the contents of the following telegram from His Excellency Field Marshal P. Phibun Songkhro, the President of the Council of Ministers of Thailand.

" His Excellency
General Hideki Tojo,
His Imperial Japanese Majesty's
Prime Minister,
T O K Y O.

I have been informed that the earthquake at Rotori has resulted in many deaths and wounded and also in heavy damage. Therefore, I have the honour to tender to you my profound regret and to express the hope that the situation there will be speedily restored to its normal condition. Thailand being an ally who shares sufferings with Japan, I therefore, beg to participate also in this calamity.

His Excellency
Monsieur Mamoru Shigemitsu,
His Imperial Japanese Majesty's
Minister for Foreign Affairs,
T O K Y O.

I-0938

分類 1.6.0.0.5

LEGATION DE SUISSE
AU JAPON
L.3.1.1.dat.-

Le Ministre de Suisse présente ses compliments
à M. le Chef du Protocole au Ministère Impérial des
Affaires étrangères et s'empresse de lui faire savoir
qu'une collecte organisée parmi le personnel de sa Léga-
tion en faveur des victimes du tremblement de terre de
Tottori et de ses environs a produit la somme de 480 yen.

M. Gorgé serait reconnaissant à M. Yoshioka de
bien vouloir faire parvenir ledit montant au Ministère
Impérial de l'Intérieur, à l'intention des sinistrés.

Ci-joint la somme de 480 yen.

Tokio, le 25 septembre 1943.

Annexe: 480 yen.

A Monsieur T. Yoshioka,

Chef du Protocole au Ministère Impérial
des Affaires étrangères,

Tokio.

鳥取県震災義捐金
員、義捐金、
件

記

I-0938

0239

I-0938

儀普通第一九七號
昭和十八年九月二十九日

外務省
次官 殿

鳥取地方震災ニ對シ在本邦瑞西國公使館見舞
金送付ノ件

鳥取地方震災ニ對シ在本邦瑞西國公使館員ノ據出ニ係ル見舞金四
百八拾圓現金ヲ以テ傳達方儀典課長宛別紙寫ノ通依頼越セルニ付
右茲ニ送付ス

可然御取計相成度シ

金券添附

官

外務省

(日本標準規格B5)

0230

LEGATION DE SUISSE
AU JAPON
L.3.1.1.dat.-

Le Ministre de Suisse présente ses compliments à M. le
Chef du Protocole au Ministère Impérial des Affaires
étrangères et s'empresse de lui faire savoir qu'une collecte
organisée parmi le personnel de sa Légation en faveur des
victimes du tremblement de terre de Tottori et de ses
environs a produit la somme de 480 yen.
M. Gorgé serait reconnaissant à M. Yoshiooka de bien
vouloir faire parvenir ledit montant au Ministère Impérial
de l'Intérieur, à l'intention des sinistrés.
Ci-joint la somme de 480 yen.

Tokio, le 25 septembre 1943.

Signé: C. Gorgé.

Annexe: 480 yen.

A Monsieur T. Yoshiooka,

Chef du Protocole au Ministère Impérial
des Affaires étrangères,

Tokio.

公	信	案
震災義捐金トシテ金壹千圓也正金銀行 小切手ヲ以テ送付越シタルニ付テハ可然内 取計相成度(右小切手)相付ハ此致依 帳申進不 金芳の主筆ニ在リ カ切手番号 横濱正金銀行東京支店外七二一七口		
外	務	省

(日本標準規格B5)

發信用		執務用	
主信	/	/	2
附	甲		
	乙		
	丙		
屬	丁		
備考			

分類 7.6005

文書課長	昭和十八年九月廿九日	文書課發送昭和十八年九月廿五日
主信	通商局長	昭和十八年九月廿九日
通二	普通通第廿九四號	昭和十八年九月廿九日
受信人	收務省警保局	昭和十八年九月廿九日
件名	鳥取地方震災義捐金ニ関スル件	昭和十八年九月廿九日
件名	今般商用ヲ以テ滞京中ノ在盤谷	昭和十八年九月廿九日
件名	阿シアチツク	昭和十八年九月廿九日
件名	会社支配人 Carl Nielsen (丁抹國人)	昭和十八年九月廿九日
件名	現任所立京丁抹公使館ヨリ鳥取地方	昭和十八年九月廿九日
件名	公信案	昭和十八年九月廿九日
件名	外務省	昭和十八年九月廿九日
件名	朝海通商二課長	昭和十八年九月廿九日
件名	金芳附	昭和十八年九月廿九日
件名	正校(原稿)	昭和十八年九月廿九日
件名	淨書	昭和十八年九月廿九日

(12.7.1)

29 15

33 17

I-0938

0252

公	信	案
（後記） 以上傳達方依所越七ノ付 以下取方依所送付 別紙束行爲作所 取付後所送付		
外	務	省

(日本標準規格 B 5)

主信 甲 乙 丙 丁 附 屬 備考		發信用 執務用
文書課長 文書課發送日昭和拾八年拾月四日 發送済		
主 管 儀典課長 任 主		
普通 第一九七號 昭和拾八年九月廿七日 附 昭和拾八年九月廿九日		
淨書 正校 (原稿) (淨書)		
昭和拾八年九月廿八日		
金券添附		
先付送寄 名 受 信 受		
鳥取地方震災、對し在本部瑞西國公使館負ノ據、見舞金四百八拾圓、現金ヲ		
外務省		

(日本標準規格 B 5)

I-0938

公	信	案	外	務	省
此紙合ハ於テ 右御通報ニ對シ表謝旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意 ヲ表シ候 敬具					
ビバンソングラム 元帥閣下ヨリ東條内閣總理 大臣へ寄セラルル見舞電報内容ヲ通報相 成致承致候 右震災ニ對シタイ國ノ寄セラルル由同情ニ對シ本大臣 ヨクモ之ニ深甚ナル謝意ヲ表明致候					

(日本標準規格 B5)

發信用執務用 主 信 甲 乙 丙 丁 附 屬 備 考		分類 2.6005 要翻譯 懸案		譯文添附	
文書課發達日 昭和十八年九月廿日 發達済		主 儀典課長		文書課長	
儀典課 第二〇號 昭和十八年九月廿日 附屬		在 本 邦 國代理公大使		淨書 (126) 正校 (原稿) (淨書)	
先付送寫 鳥取地方震災ニ對シタイ國首相、東條首相へ見舞電報ニ関スル件		名 人 信 受 外務大臣		昭和三十八年九月廿日 起草	
以書翰啓上致候陳者 九月二十五日附第 125/1155 號貴翰ヲ以テ		名 件 録 記 鳥取地方震災ニ對シタイ國首相、東條首相へ見舞電報ニ関スル件		昭和三十八年九月廿日 附屬	
鳥取地方震災ニ對シタイ國内閣總理大臣		外務大臣		昭和三十八年九月廿日 附屬	

(日本標準規格 B5)

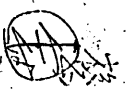
I-0938

0234



文書課長

Translation



30th September, 1945.

陸軍省

Mo. 20/Pn

Monsieur l'Ambassadeur,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your

Excellency's Note No. 125/1155 dated the 25th September, in

which you were good enough to transmit to me the contents of

a telegram addressed to His Excellency General Hideki Tojo,

the Prime Minister, by His Excellency Field Marshal P. Phibun

Songkhram, the President of the Council of Ministers of

Thailand, conveying his profound regret on the recent earth-

quake at Tottori.

I beg to take this opportunity to express my sincere appre-

ciation of the deep sympathy which has been shown by Thailand

on this disastrous occasion.

I avail myself of this opportunity to renew to Your

Excellency, Monsieur l'Ambassadeur, the assurance of my highest

consideration.

Minister for Foreign Affairs. (L.S.)

I-0938

政務局
第...課長

分類 I 6005

昭和十八年十月五日

式部職外專課長 後藤 銘 尾

外務大臣官房儀典課長 吉岡 範武 殿

御親電寫送付ノ件

今般別紙寫ノ通御親電ノ往復有之候

記

一、滿洲國皇帝陛下ヨリ鳥取地方震災ニ對スル御見舞電報竝之ニ對スル御答電

一、タイ國皇帝陛下誕辰御祝電竝之ニ對スル御答電

一、日獨伊三國條約締結三周年ニ際シ獨國總統閣下ヨリ御祝電竝之ニ對スル御答電

宮内省

八號罪紙

滿洲國皇帝陛下御見舞電報

鳥取地方激震ノ報ヲ聞キ誠ニ慰念ニ堪ヘス茲ニ謹ミテ御見舞申
シ上ケ併セテ陛下ノ御安泰ヲ祈リ奉ル

薄儀

東京

大日本帝國天皇陛下

昭和十八年九月十三日午後五時十五分新東京發
五時四十分宮内省内局著

宮内省

I-0938

0255

政務局
課長

願 I. 6005

本信州
3/13
05
00
7/1
3

昭和十八年十月五日

式部
外務大臣官房儀典課長 吉岡 範武 殿
尾

御親電寫送付ノ件

今般別紙寫ノ通御親電ノ往復有之候

記

- 一、滿洲國皇帝陛下ヨリ鳥取地方震災ニ對スル御見舞電報竝之ニ對スル御答電
- 一、タイ國皇帝陛下誕辰御祝電竝之ニ對スル御答電
- 一、日獨伊三國條約締結三周年ニ際シ獨國總統閣下ヨリ御祝電竝之ニ對スル御答電

宮内省

滿洲國皇帝陛下御見舞電報

鳥取地方激震ノ報ヲ聞キ誠ニ懸念ニ堪ヘス茲ニ謹ミテ御見舞申
シ上ケ併セテ陛下ノ御安泰ヲ祈リ奉ル

薄儀

東京

大日本帝國天皇陛下

昭和十八年九月十三日午後五時十五分新東京發
五時四十分宮内省内局著

宮内省

I-0938

新^シ京^{キヤウ}
瑞^{スエーデン}洲^{シュウ}國^{クニ}皇^{ミカド}帝^{テイ}陛^{ヘイ}下^カ

指^{サシ}示^シウ^ウナ^ナ

ヘイカヨリコントクナル
デンパ
ウヲヨセラレ
カンマイニタヘズ
ココニセイジ
ツナルシヤイ
ヲイタス

ヒロヒト

九月十四日

宮内省

I-0938

0258

公	信	案
旨通知越々次第了承され旨同公使館ニ回答スルノ光榮ヲ有ス		
意ヲ表明スル		
取計ヒタル旨直叙スト其ノ為ニ深甚ナル謝		
受領シ右ハ早速関係官廳ニ通シ傳達スル		
館員一同ノ據出ノ國ハ見舞金四百八拾圓ヲ		

(日本標準規格 B5)

文書課長		文書課發送		昭和拾八年拾月八日		發送済	
主儀典課長		主儀典課長		昭和拾八年拾月八日		正校(原稿)	
儀典課第三八四號		昭和三十八年拾月八日附		附屬		淨書	
受信人		瑞西國公使館		外務省		外務省	
先付送寫		鳥取地方震災ニ對シ在邦瑞西國公使		鳥取地方震災ニ對シ在邦瑞西國公使		鳥取地方震災ニ對シ在邦瑞西國公使	
件名		鳥取地方震災ニ對シ在邦瑞西國公使		鳥取地方震災ニ對シ在邦瑞西國公使		鳥取地方震災ニ對シ在邦瑞西國公使	
帝國外務省ハ在本邦瑞西國公使館ヨリ九月二十一日附		瑞西國公使館ヨリ九月二十一日附		瑞西國公使館ヨリ九月二十一日附		瑞西國公使館ヨリ九月二十一日附	
吉岡儀典課長宛		吉岡儀典課長宛		吉岡儀典課長宛		吉岡儀典課長宛	
口上書ヲ以テ		口上書ヲ以テ		口上書ヲ以テ		口上書ヲ以テ	
公信案		公信案		公信案		公信案	

(日本標準規格 B5)

I-0938

No. 384/pr

機
要
課

NOTE VERBALE

Par la Note No.L.3.1.1.dat. du 25 septembre dernier,
Son Excellence Monsieur le Ministre de Suisse a bien voulu
Yoshioka
envoyer au Chef du Protocole une somme de 480 yen, produit
d'une collecte faite parmi Messieurs les membres de la
Légation de Suisse en faveur des victimes du tremblement
de terre de la région de Tottori.

Le Ministre des Affaires étrangères a l'honneur de
faire savoir à Son Excellence Monsieur le Ministre que ces
libéralités généreuses ont été immédiatement transmises
aux autorités compétentes, et de Lui exprimer ses remerciements
les plus sincères.

Le 6 octobre 1943.

I-0938

0270

秘

電信寫

分類 I 6000

主管 總務 (滿總)

昭和 18 六四四九一 略 新京 十月十三日一九三〇發

本省 十三日二、五〇着

青木大東亞大臣

梅津大使

K (大東亞 各大臣宛) 第三三號

(滿洲國皇帝陛下御救恤金御下賜ノ件)

滿洲國皇帝陛下ニ於カセラレテハ今般鳥取縣ノ震災ニ對シ國幣三萬

圓ヲ御下賜相成リ本十三日外交部ヨリ右手續方在本邦滿洲國大使ニ

對シ訓令セル趣ナリ

(了)

大東亞省

規格—B5 (東東 1209)

I-0938

0272

手紙 I 6005



職典部

公函第三三五號
以審判官上致候 陳者我至尊ナル 皇帝陛下ニハ本月十二日過般
縣ニ於ケル災害ニ關シ救恤ノ恩召ヲ以テ御見舞金三萬圓御下賜ノ御沙汰
アラセラレタルニ付右貴國政府ニ對シ傳達方本國政府ヨリ訓令略候ニ就
而可然御取計相成度此致及御通報候
追而該見舞金ハ接受次第追送候條御了承相成度候
右申進勞本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候
康熹十年十月十四日
敬具

駐劄日本帝國滿洲帝國特命全權大使 土 元 卿

日本帝國
大東亞大臣 青 木 一 男 閣下



I-0938



秘

電信寫

分類 1.6005

主管 總々(南政)

昭和18 一五九六四

略 盤谷 十月二十一日一〇四〇發
本省 二十二日一、一〇着

青木大東亞大臣

坪上大使

K (大東亞 外務各大臣宛) 第八五號

(「タイ」國政府ノ鳥取縣救恤米送付ノ件)

往電K第七三號ニ關シ

「タイ」側ヨリ白米一等品五百屯受領ノ上「パタピヤ」丸ニテ積出
セリ (了)

規格-B5 (東京 1209)

電信課長

外務省

大臣

次官

重光外務大臣

鳥取縣知事

昭和18 一七一二七 平

鳥取 十月二十一日〇五二〇發
本省 二十一日〇八二五着 政

(鳥取縣震災ニ對シ「タイ」國ノ謝意傳達方ニ關スル件)

今回ノ本縣震災ニ對シ貴官ヨリ「タイ」國政府ノ深厚ナル同情ノ
意ヲ御傳達ヲ受ケタルハ本縣民一同ノ感激感謝ニ堪ヘサル所
ナリ就テハ貴官ヨリ「タイ」國政府ニ對シ此ノ意宜シク御傳達ヲ
願フ (了)

寫送先

弘 祕 會 文 儀 人 調 條 通 政 願
報 官 計 書 典 事 查 約 商 務 問

分類 1.6005

I-0938

主信	甲	乙	丙	丁	備考
附					
局					
備考					

譯文添附

文書課長	文書課發送日	昭和十八年三月六日	發送済	淨書	正校(原稿)	(淨書)
	主儀典課長	儀典課	第四二七號	昭和十八年三月五日附	附屬	昭起草
受信人	在本邦	瑞西國公使館	名件録記	名件録記	名件録記	名件録記
先付送寫	鳥取地方震災義捐金一圓五分	鳥取地方震災義捐金一圓五分	鳥取地方震災義捐金一圓五分	鳥取地方震災義捐金一圓五分	鳥取地方震災義捐金一圓五分	鳥取地方震災義捐金一圓五分
件名	口上書	口上書	口上書	口上書	口上書	口上書
帝國外務省ハ在本邦	瑞西國公使館ヨリ	九月二十五日附	九月二十五日附	九月二十五日附	九月二十五日附	九月二十五日附
第	31	號口上書ヲ以テ送	付越ノ鳥取地方震	付越ノ鳥取地方震	付越ノ鳥取地方震	付越ノ鳥取地方震
公信案						

日本標準規格 B 5

44

別紙

厚生省發生第一三三號	昭和十八年十月三十日	厚生省	外務次官 殿
鳥取地方震災義捐金ニ關スル件			
十月六日儀普通第三一號ヲ以テ左記ノ者ヨリ送付ニ係ル標記義捐金ハ鳥取縣知事宛送付致置候條出捐者ニ對シ左ノ旨通知方可然御取計相成度			
在本邦瑞西國特命全權公使「ゴルジエ」以下館員一同			

規格 B. 5

昭和十八年十月三十日 接受

I-0938

公 信 案

旨通知 成ノ次第ヲ了承セル旨同 大使館ニ回答スルノ光榮ヲ有ス

外 務 省

外
務
省

米義捐金四百八拾圓
二對スル受領証ヲ送付

スル一光榮ヲ有ス

別紙受領証其後添付

(日本標準規格 B5)

No. 427/Pr.

NOTE VERBALE

Comme suite à sa Note Verbale No. 384/Pr. du 6 octobre dernier, le Ministère Impérial des Affaires étrangères a l'honneur de faire savoir à la Légation de Suisse qu'il vient de recevoir le récépissé ci-joint de la somme de 480 yen qu'elle avait bien voulu lui faire parvenir, par Note No. L. 3. 1. 1. dat. du 25 septembre dernier, comme secours aux victimes du tremblement de terre de la région de Tottori.

Le 5 novembre 1943.

I-0938

02:00

文書管理課	作	大目	11月29日附
暹羅米 - 暹羅米 = 11月29日付			

No. 172/1550



ROYAL THAI EMBASSY,
TOKYO.
November 29, 1943.

Monsieur le Ministre,

With reference to my letter No. 125/1155 of the 25th September, 1943, concerning the despatch from Thailand of Thai rice for the relief of those sufferers in the earthquake at Fetteri, I have the honour to inform Your Excellency that 4,667 bags (500 tons) of Thai rice have now arrived at Kobe and as suggested by the competent authorities of the Imperial Ministry of Foreign Affairs, I have caused the same to be delivered to the Office of the Central Administration of Fetteri Prefecture.

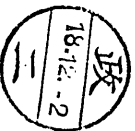
In informing Your Excellency of the above I beg to express the hope that this will be of some help to the victims of Fetteri earthquake. As the matter of fact, the quantity of rice above-mentioned is insignificant compared with the most generous gift presented by His Imperial Majesty's Government to the sufferers of the flood in Thailand last year. However, it came from the real desire of the Thai nation to share all suffering with their brother nation. Please, therefore, take it simply as token of sincere friendship and mutual sympathy which are binding our two nations in a real brotherhood.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur le Ministre, the assurance of my highest consideration.

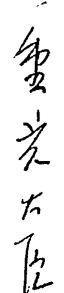
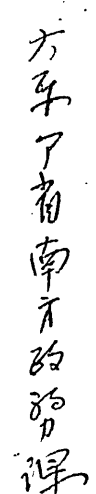
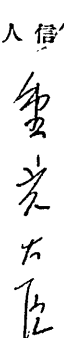
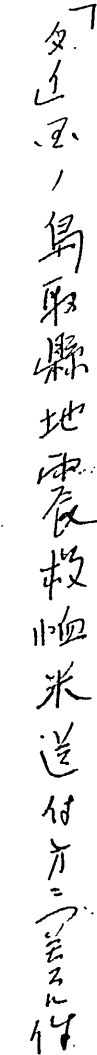
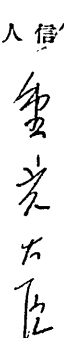
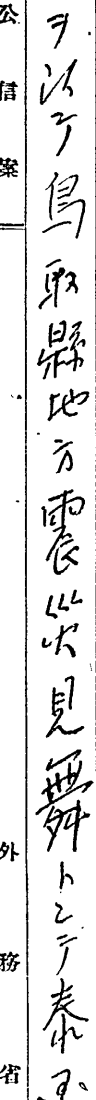
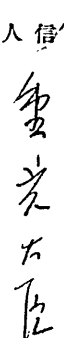
M. N. Chit-Nakulavan

THAI AMBASSADOR.

His Excellency
Monsieur Memoru Shigemitsu,
His Imperial Japanese Majesty's
Minister for Foreign Affairs,
T O K Y O.



主信		發信用		執務用		附		備考		附原素信ト 其ニテ有テ 市政トモ アリ 2.6.0.0.5		儀典課 	
主		甲		乙		丙		丁					
附		甲		乙		丙		丁					
屬		甲		乙		丙		丁					
備考													

文書課發送日		昭和八年五月二日		文書課長			
管主		政務課長		主任課長			
管		二 普通密 第三五 號		昭和八年五月二日		附屬	
受信人		在系		泰西大使			
先付送寫		方系ア有南才政務課					
件名		方系ア有南才政務課					
録記		11		23			
公信案		外務省					

以書翰致政務課上候陳和土月二九日附費信
 ヲ以テ島取縣地方兩長此見無外トテ泰西

No. 125/1155

I-0938

文書課長 儀
No 357P2
儀 課長

Translation.

11th December, 1943.

Monsieur l'Ambassadeur,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note No. 172/1550 of the 29th November informing me that the 4,667 bags (500 tons) of Thai rice which have been sent by the Thai Government for the relief of the sufferers from the earthquake in Tottori have arrived at Kobe and that you have caused the same to be forwarded to the prefectural authorities of Tottori.

I beg to express my most grateful thanks for the sympathy and goodwill of the Thai Government, and to assure Your Excellency that through the co-operation of the authorities concerned ^{the} I shall see that ^{the} esteemed gift is so utilized as to give full effect to the kindly wishes of the Thai Government.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency, Monsieur l'Ambassadeur, the assurance of my highest consideration.

His Excellency
The Thai Ambassador,
Tokyo.

Minister for Foreign Affairs.

I-0938

主信		發信用		執務用	
附		甲		乙	
附		丙		丁	
備考					

公文書	信	案	件名	先付送寫	受人信名	主信	文書課發送日
				件名録記	名人信發	任主	淨書用
外	務	省	鳥取地方震災一対スル奉仕政府家贈救恤米ニ 關スル公信寫送付件	11 24	大車重省 南支事務局長	政務局長	昭和十八年十一月六日 附屬

I-0938

0280